

令和4年2月22日

令和3年度 三原市一校一貢献事業実施報告書

三原市立第四中学校
校長 河隅 道子

1 実施期間 令和3年6月8日から令和4年2月22日

2 取組

(1) 概要

【ミッション】社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成

【めざす生徒像】

- 夢や志に向かって自ら挑戦する生徒
- 他者を思いやり協力して課題解決できる生徒
- 話を真剣に聞き考えを適切に表現できる生徒
- 自分、他者、地域を大切にする生徒

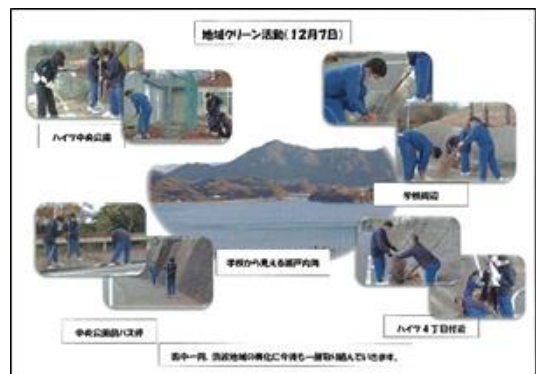
- 校内環境整備作業や地域清掃活動等の体験活動の充実
 - ・ボランティア活動の推進(特別の教科「道徳」, 総合的な学習の時間, 学級活動)
 - ・小中連携教育(特別の教科「道徳」, 総合的な学習の時間, 学級活動)

(2) 具体的実践内容

- 6月 地域クリーン活動
(コロナウイルス感染症対策として中止)
- 12月7日(火) 地域クリーン活動実施
- 2月下旬 町内福祉施設へ吹奏楽部 DVD を配布 (予定)

(3) 成果

○今年度も、コロナウイルス感染症対策として、例年行っている小中合同地域クリーン活動を単独で12月に実施した。6月も予定していたが、コロナウイルス感染症の観点から、中止することとし、12月のみの実施となった。今年度は予備日を含めながら予定を立てていった。



当日は天候にも恵まれ、生徒、教職員全員で学校周辺の4か所を清掃活動することができた。

【生徒の感想より】

・町を美しく保つために地域クリーン活動があるんだなと思いました。自分自身もこのような活動を通して、他学年と交流することでよい四中にもなっていくと思いました。今回やったクリーン活動で、須波を美しく見せることもできるし、須波は美しい街だなと他の人にも思ってもらえたと思いました。今回のクリーン活動を通して、僕はボランティア活動にも参加していきたいなと思いました。

・自分一人ではどうしてもできないことがあるから、他の人と協力して達成できると改めて実感しました。一人ひとりが自分で考えて行動し、積極的に他のところを手伝いに行くととてもよかったと感じた。

・地域クリーン活動の途中で数人の方に「ありがとう」と言われたので、やってよかったという気持ちになりました。全体を見渡して来た時よりもきれいになっていたの、短時間でもやってよかったという気持ちになりました。

・地域クリーン活動を通して、今まで以上にこの町をきれいにしていきたいと思ったし、みんなですること、一人ではできないことも、みんなで協力するとより手際が良くなるんだなということを改めて知るきっかけになりました。来年は私たちが三年生なので、今の一年生、次の一年生を引っ張っていけるようになれたらなと思います。

○例年行っている学校行事（運動会、学習発表会等）に地域福祉施設の入所者様をお招きすることや福祉施設への演奏訪問が今年度もコロナウィルス感染症対策として、実施することができなかった。その代替案として昨年度と同じようにDVDで演奏風景をお伝えすることができればと考え、吹奏楽部員を中心に準備をしてきた。2月下旬にお届けする予定である。